# 令和７年度
# 保土ケ谷区地域子育て支援拠点
# こっころ・こっころサテライト
# 利用者アンケート

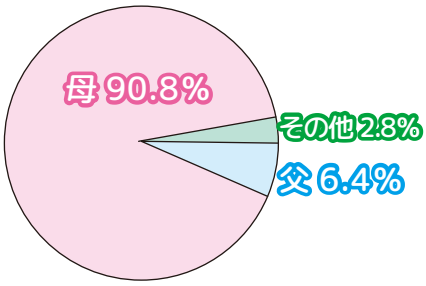
**対象者**　未就学児を持つ、こっころ・こっころサテライトの利用者もしくは、保土ケ谷区役所の乳児、幼児健診受診の保護者の方

**調査期間**　令和７年８月～９月

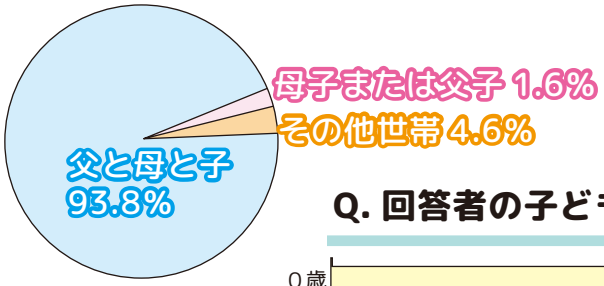
**回答者数**　４３７名

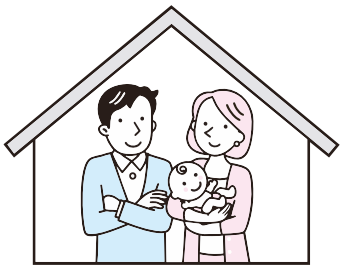
## アンケート回答者の状況

### Q. 回答者の続柄

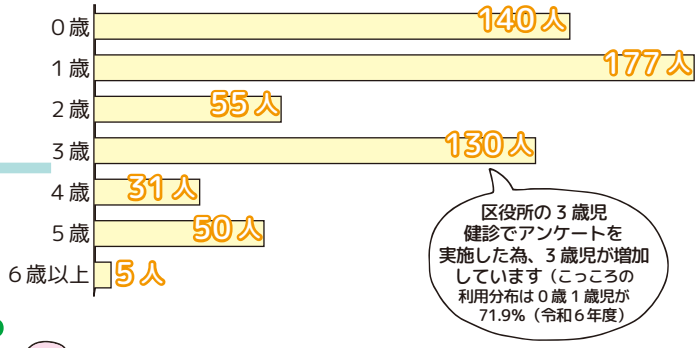



### Q. 回答者の家族構成

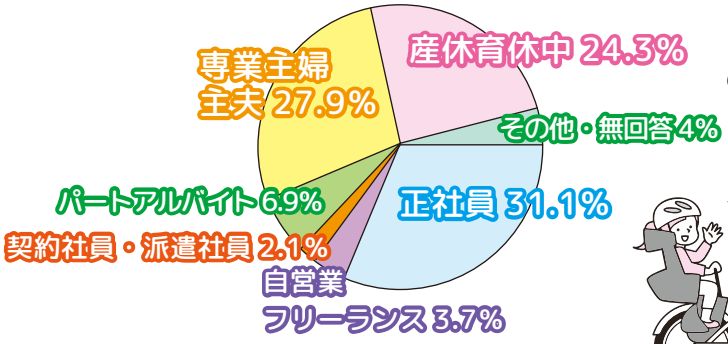


### Q. 回答者の子どもの年齢（兄弟児を含む）



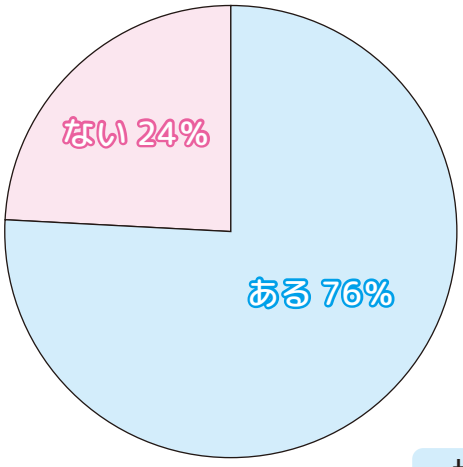

### Q. 回答者の就業状況

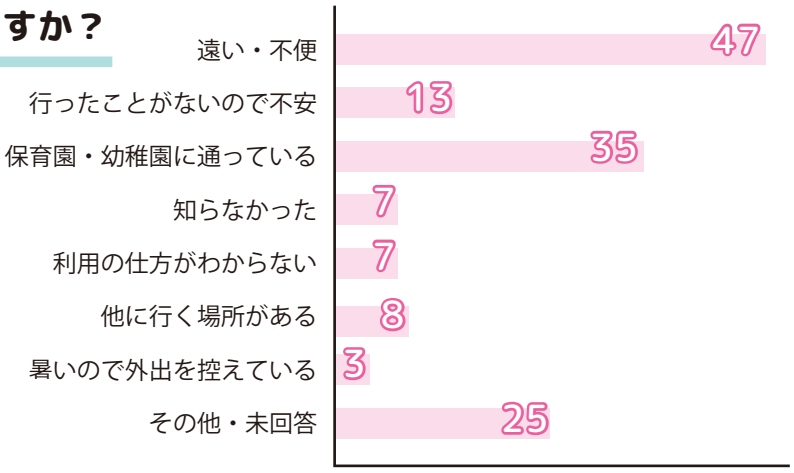


回答者の９割超の方が核家族で回答者の約７割の方が仕事をしながら、子育てをしていることがわかります

# 利用状況について

## Q. こっころを利用したことがありますか？

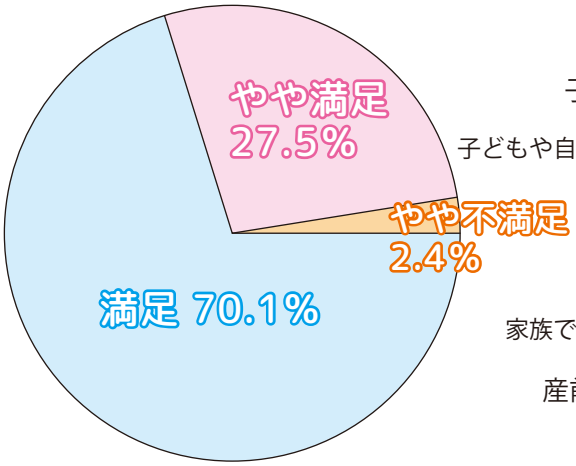


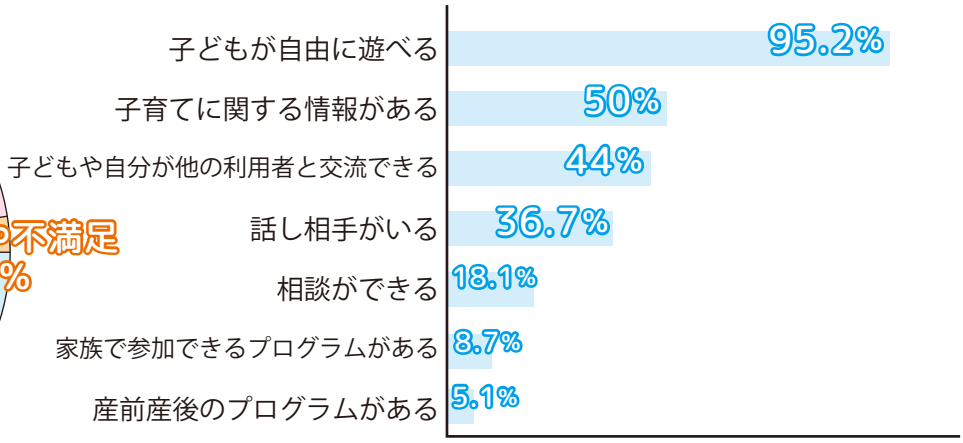




利用したことが「ない」と答えた方の理由

地理的・利便性の問題で利用したことがない方に次ぎ、就園の低年齢化が進んで、保育園幼稚園に通っているため利用したことがない方が多いのも特徴といえます。

## Q. こっころの利用について満足していますか？




利用してよかったこと（複数回答可）

初めての利用の時、月齢の近そうなママ同士をさりげなく繋げてくれてありがたかった

スタッフが子どもにも親にも声を掛けてくれうれしいです

清潔でおもちゃもたくさんあり、ほっとできるところです

相談や雑談に付き合っていただき、吐き出せる場所があり助かります

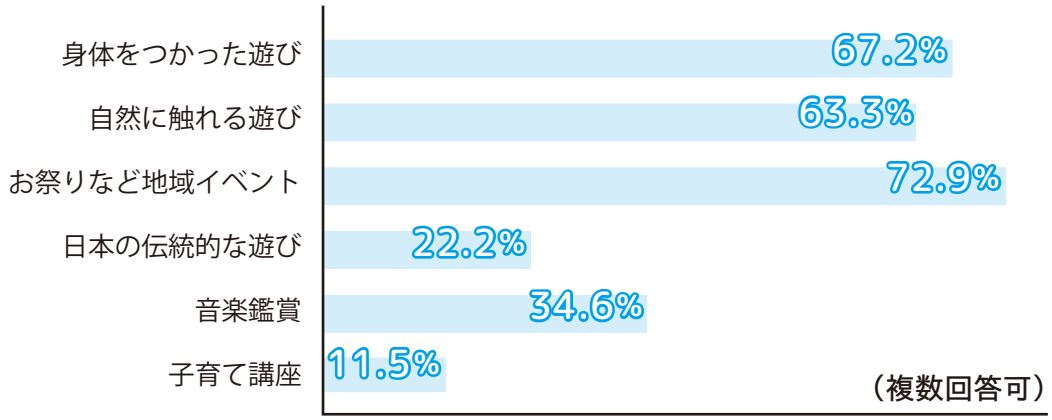
おもちゃが色々あり、定期的に変化があって子どもの刺激になります

子どもの成長を一緒に喜んでくれるスタッフやママがいてうれしい

いつ行っても優しく声をかけてくれて、孤立した気持ちになりやすい育休中励まされ、相談できてありがたかった

「利用してよかったこと」として最も多く挙げられたのは「子どもが自由に遊べる」で、利用したことがある方の 95.2%（319 人）が回答しており、多くの利用者が子どもの遊び場としての魅力を感じていることがわかります。次いで「子育てに関する情報がある」(50%)、「子どもや自分が他の利用者と交流できる」(44%)、「話し相手がいる」(36.7%) と続き、情報の入手や人とのつながりも大きな利点として評価されています。一方で、「相談ができる」(18.1%)、「家族で参加できるプログラムがある」(8.7%)、「産前産後のプログラムがある」(5.1%) といった項目は比較的割合が低く、個別支援や家族・産前産後向けの取り組みは要望や必要に応じて、今後の充実や方向性の見直しをする必要があります。

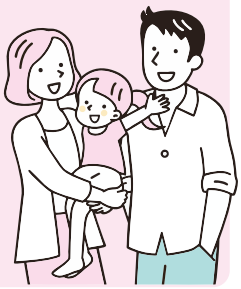
## Q. 家族で参加したいプログラムはどんなものですか？




皆さんの
アンケートを今後の
プログラムの企画の
参考にしたい
と思います

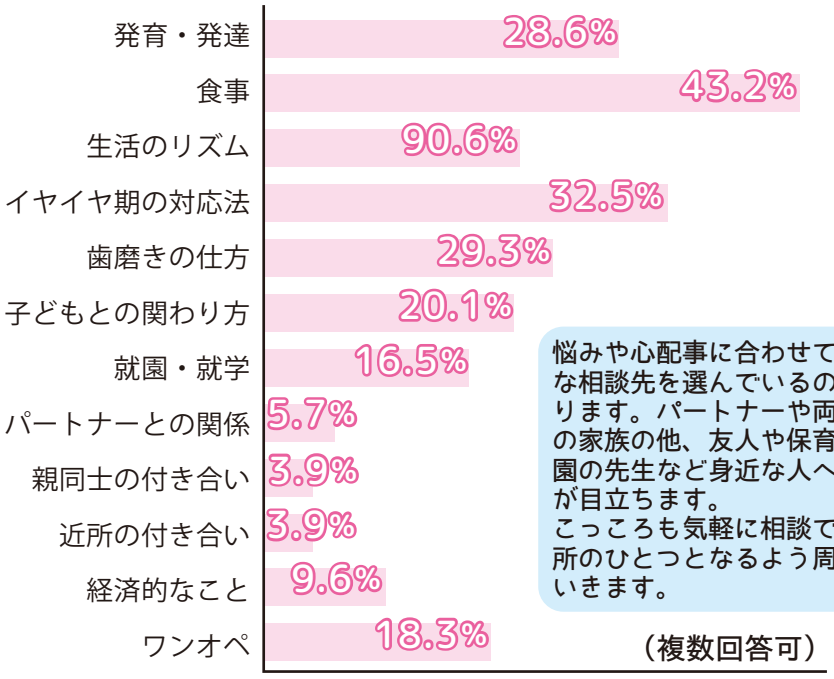
### 利用後、子育てや子どもへの関わり方が変化したという方の割合

| | |
|---|---|
| 他の親の子どもへの対応が子育ての参考になった | 86.5% |
| 異年齢の子どもの様子を見たり交流したりすることで、子どもの成長の見通しがつくようになった | 91% |
| スタッフや他の保護者との交流を通して、子育ての悩みや孤立感が減った | 83.5% |
| 他の親子が困っている時に手伝ったり、声をかけたいと思うようになった | 87.9% |
| 困ったとき、周りの人に手を貸してほしいと言えるようになった | 68.7% |
| 地域に様々な子育て支援の場があることを知って、住んでいる地域を以前より身近に感じるようになった | 91.3% |

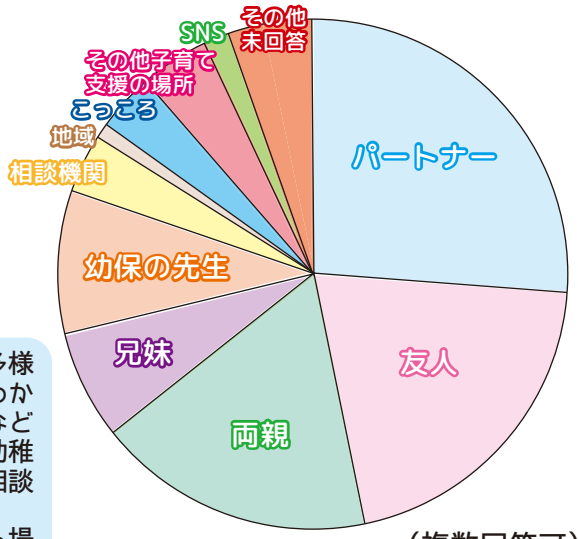


# 子育ての困りごとや相談

## Q. 子育てに関して困っていること、心配していることはどんなことですか？




悩みや心配事に合わせて、多様な相談先を選んでいるのがわかります。パートナーや両親などの家族の他、友人や保育園幼稚園の先生など身近な人への相談が目立ちます。
こっころも気軽に相談できる場所のひとつとなるよう周知していきます。




（複数回答可）

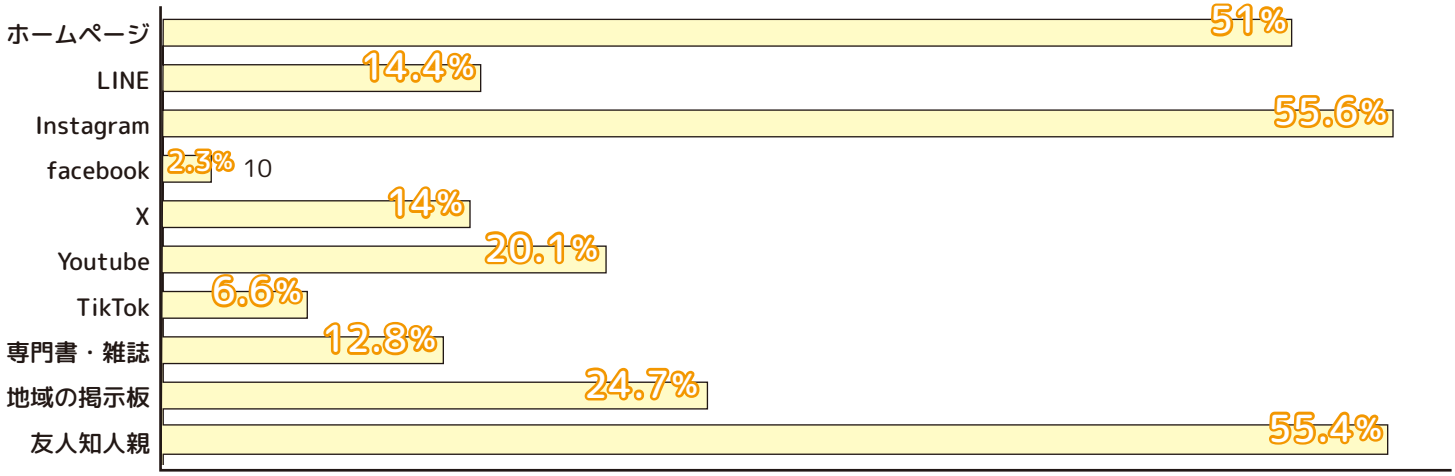
## Q. 誰に相談しますか？

## 利用者からのご意見

| | |
|---|---|
| ねんね期の子どもを連れて入場するのが大変と感じました。一度利用したとき、荷物、子ども、靴をひとりで抱えてゲートを開閉するのが困難だったため、次回の利用を躊躇しています | 受付や近くのスタッフがお手伝いしますので、いつでもお声がけください |
| ひろばで写真をて撮っている方がいます。SNS にも投稿する方もいるようなので、ダメならダメというべきかと思います | 利用説明の時のご案内を確実にし、ひろばで確認した際にはお声がけします |
| 駐車場があると助かります | イオン天王町の駐車場を利用できます |
| こっころもサテライトも混んでいて入れないことがある。入れずに帰ることがあるので、いつでも遊べるようにしてほしい | 子どもたちの安全を優先して入場制限しています。HP で入館状況を随時更新していますので、お出かけの参考にしてください |

## 子育て情報について

**Q. 子育てに関する情報をどこで入手しますか？**（複数回答可）




子育てに関する情報の入手先として最も多かったのは「Instagram」（55.6%）で、次いで「友人・知人の口コミ」（55.4%）、「ホームページ」（51%）が多く挙げられました。SNS の中でも Instagram が特に利用されており、写真や投稿を通じて気軽に情報を得る傾向がうかがえます。またホームページからの情報入手は最新情報などを正確に入手するのに役立つと考えられます。
一方で、「友人や知人や親などからの口コミ・紹介」もほぼ同程度に高く、信頼できる身近な人が情報源となっていることが分かります。
そのほか、「地域の掲示板」（24.7%）や「YouTube」（20.1%）など、多様なメディアを通じて情報を得ている姿もあり、オンラインとオフラインの両面から情報収集している傾向が読み取れます。

引っ越ししたてで、買い物や遊びスポットをたくさん教えてもらって、自分で周って感想もまたスタッフに伝えられてうれしい

娘の保育園探しの時、スタッフが親身に話を聞いてくれ、色々な資料の提供や、区役所への相談を促してくれてありがたかった

近くの病院の情報やお店の情報交換などがこっころで出来ていいと思います

親子の居場所として、スタッフや他の利用者との会話から情報交換したり、新しい発見を得たりする、顔を合わせた交流ができることを大切にしています。また、忙しい子育て中にも気軽に情報を得ていけるよう、オンラインでも地域の子育て情報やつながりを広げられるように、ネットワークの充実を進めていきたいと考えています。